

安全データシート

製品名 Santolubes32

日付 2025年7月1日

安全データシート

1. 物質/製品および会社/企業の特定

物質/製品の特定

製品名

Santolubes32

販売会社

(有)オブエレメンツテクニカル

福井県敦賀市公文名 80 号 141-16

TEL: 0770-21-3017

FAX: 0770-37-5019

製造会社

Santolubes Japan GK

連絡先

住所

8-42.Hirayama Mikuni Machi Sakai shi

Fukui ken 〒913-0004 JAPAN

電話番号

+ 81-776-43-1456

ファックス番号

+ 81-776-43-1466

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

火薬類

分類対象外

可燃性/引火性ガス

分類対象外

可燃性/引火性エアゾール

分類対象外

支燃性/酸化性ガス

分類対象外

高压ガス

分類対象外

引火性液体

区分外

可燃性固体

分類対象外

自己反応性化学品

分類対象外

自然発火性液体

区分外

自然発火性固体

分類対象外

自己発熱性化学品

分類できない

水反応可燃性化学品

区分外

酸化性液体

区分外

酸化性固体

分類対象外

有機過酸化物

分類対象外

金属腐食物質

分類できない

健康に対する有害性

急性毒性（経口）

区分外

	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入:ガス）	分類できない
	急性毒性（吸入:蒸気）	分類できない
	急性毒性（吸入:粉塵、ミスト）	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	分類できない
	目に対する重篤な損傷性/目刺激性	区分2 B
	呼吸器感製作性	分類できない
	皮膚感作性	区分外
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性・急性	分類できない
	水生環境有害性・慢性	分類できない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル
なし

注意喚起語
警告

危険有害性情報
軽度の皮膚刺激を引き起こし、目および呼吸器への刺激を引き起こす可能性があります。

目の刺激性 — 区分2 B H320

注意書き
安全対策
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。

応急措置
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

3. 成分構成/成分情報

3.1 混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
1,3-ジシクロヘキシル-1,1,3-トリメチルプロパン	38970-72-8	85	4-845
鉱油	64742-54-7/ 64742-65-0/ 64742-55-8/ 64742-56-9	< 5	-

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

この成分表に記載なき成分は、日本政府によるGHS分類結果一覧に記載されていません。

重量%の通知により当社の利益を不当に害するおそれのあるものは、成分表にて含有量を幅表示にしています。

危険有害成分

労働安全衛生法「表示すべき有害物」該当成分

鉱油

労働安全衛生法「通知すべき有害物」該当成分

鉱油

4. 応急措置

4.1 吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

4.2 皮膚(又は髪)に付着した場合

多量の水、石鹼で十分に洗浄する。必要に応じて医師の診断を受ける。

4.3 目に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

4.4 飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

4.5 急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。

医師に対する特別な注意事項

医師に対する特別な注意事項に関する情報なし。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素

5.2 使ってはいけない消火剤

大量の水噴霧

5.3 特有の危険有害性

燃焼の際に有毒な炭素酸化物を生成する。

5.4 消火を行う者の勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火作業は、可能な限り風上から行う。

5.5 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

防火服又は防災服を着用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に関する注意事項

関係者以外は近づけない。

適切な保護具を着用する。

着火源を取除くとともに換気を行う。

安全に対処できる場合は漏洩を止める。

6.2 環境に関する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

河川等に流出した場合は、管轄機関に連絡をする。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。

多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。

回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

清浄な帯電防止工具を用いて吸収したものを集める。

7. 取り扱いおよび保管

7.1 技術的対策

（取扱者のばく露防止）

ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

7.2 （火災・爆発の防止）

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

静電気放電に対する措置を講ずること。

7.3 （局所排気、全体換気）

排気/換気設備を設ける。

7.4 （注意事項）

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

7.5 安全取扱注意事項

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

7.6 接触回避

強酸化性物質との接触を避けること。

7.5 衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗う。

7.6 保管

安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

乾燥した場所に保管すること。

7.7 （避けるべき保管条件）

直射日光、高温、着火源（裸火、火花など）を避けること。

8. ばく露防止及び保護装置

8.1 管理指標

管理濃度及び濃度基準値

設定されていない

許容濃度

日本産衛学会

(鉱油) 3mg/m³ (鉱油ミストとして)

ACGIH

(鉱油)

TWA: 可能な限り低く (L) (as Poorly and mildly refined Mineral oil, excluding metal working fluids)

(上気道刺激)

8.2 ばく露防止

設備対策

排気/換気設備を設ける

洗眼設備を設ける

手洗い/洗顔設備を設ける。

8.3 呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

8.4 手の保護具

学防護手袋 推奨材質：不浸透性もしくは耐化学品ゴム

8.5 目の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

8.6 皮膚および身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的および化学的性質

9.1 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体

色：オレンジ色

流動点：-42.5℃

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

可燃性（ガス、液体及び固体）：可燃性

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点：144℃

自然発火点データなし

分解温度データなし

pHデータなし

動粘性率データなし

溶解度：

水に対する溶解度：不溶

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度：0.9

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性：適用外

10. 安定性および反応性

10.1 反応性

反応性データなし

10.2 化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

10.3 危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

10.4 避けるべき条件

直射日光、高温、着火源(裸火、火花など)を避けること。

10.5 混触危険物質

強酸化性物質

10.6 危険有害な分解生成物

熱分解により以下の物質を生成する。

炭素酸化物

11. 毒性情報

11.1 急性毒性

急性毒性（経口）

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(鉱油: CAS 64742-65-0)

ラット LD50: > 5000 mg/kg (OECD TG 401, GLP)

[会社固有データ]

(製品)

ラット LD50: >15800 mg/kg

ウサギ LD50: >7940 mg/kg

急性毒性（経皮）

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(鉱油: CAS 64742-65-0)

ウサギ LD50: > 5000 mg/kg (OECD TG 402, GLP)

急性毒性（吸入）

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 2B, 眼刺激

[成分データ]

[会社固有データ]

(製品)

区分 2B

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

皮膚感作性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

生殖細胞変異原性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

発がん性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

[IARC]

(鉱油)

Group 1：ヒトに対して発がん性がある

[ACGIH]

(鉱油)

A2(as Poorly and mildly refined Mineral oil, excluding metal working fluids)：ヒト発がん性の疑いがある

(64742-65-0)

[日本産衛学会]

(鉱油)

第1群：ヒトに対して発がん性があると判断できる物質（鉱油ミストとして）

[EU]

(鉱油)

Category 1B；ヒトに対しておそらく発がん性がある物質

生殖毒性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

誤えん有害性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(鉱油：CAS 64742-55-8)

区分 1

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

水生環境有害性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

会社固有データ

(製品)

魚類（ファットヘッドミノー）LC50: >1000 mg/kg

12.2 残留性・分解性

残留性・分解性データなし

12.3 生体蓄積性

生体蓄積性データなし

12.4 土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

12.5 他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

承認された廃棄物集積場で処理する。

下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号：該当しない

正式輸送名：該当しない

分類または区分：該当しない

容器等級：該当しない

IMDG Code（国際海上危険物規程）

国連番号またはID番号：該当しない
正式輸送名：該当しない
類または区分：該当しない
容器等級：該当しない

IATA（航空危険物規則書）

国連番号またはID番号：該当しない
正式輸送名：該当しない
分類または区分：該当しない
容器等級：該当しない

環境有害性

海洋汚染物質（該当/非該当）：非該当

特別の安全対策

特別の安全対策データなし

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質
バルク輸送におけるMARPOL条約付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される有害液体物質に該当しない。

MARPOL条約付属書V - HME（海洋環境に有害）

IMO規則に従うばら積みでの海上輸送は適用されない。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

15. 法令に関する情報

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

鉱油（規則別表第2の581）

名称通知危険/有害物

鉱油（規則別表第2の581）

化学物質管理促進（PRTR）法

化学物質管理促進（PRTR）法に該当しない。

労働基準法

がん原性化学物質（規則別表第1の2第7号）

鉱油

消防法

危険物

第4類 引火性液体第3石油類非水溶性液体 危険等級 III（指定数量 2,000L）

化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

水質汚濁防止法

1日当たり平均的排水量50m³以上の特定事業場に適用される排水基準生活環境項目

鉱油

ノルマルヘキサン抽出物質含有量：5mg-鉱油類/L

16. その他の情報

16.1 参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 23rd edit., 2023 UN

IMDG Code, 2024 Edition (Incorporating Amendment 42-24)

IATA 航空危険物規則書 第66版 (2025年)

2024 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2025 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2024 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)

Supplier's data/information

GESTIS-Stoffdatenbank

Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

16.2 責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。

また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ(独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIP)(令和5年度(2023年度)公表分まで))です。

但し、当社の判断に基づいて、データを一部変更しております。

従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。